

月刊 かわごえ環境ネット



2020年1月号 No.159

<https://kawagoekankyo.net>

2020年1月1日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

理事長より新年のごあいさつ



「令和」最初の正月、そして2020年代の幕開けです。みなさまにとってよい1年であることをお祈りいたします。本会は2020年度に20周年記念事業を展開します。（小瀬博之）

第18回かわごえ環境フォーラム

第18回 かわごえ環境フォーラム
2020.2.29 (土) 9:30-16:30
ウェスタ川越 2階 会議室1・2 (川越市新橋町797-1川越駅西口から徒歩5分)
参加無料
①みんなの環境活動報告会 (9:30-12:00)
②講演会 (13:00-14:25)
動きながら考え、考えながら調整する
〜ぼくらのエアリアルノベーション〜
荒木牧人氏
(株式会社80%代表取締役 / mao代表 / 三輪放葉子理事 (AOのイッちゃん))
③マップづくりワークショップ (14:40-16:30)
川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう2
2019年3月に開催された「第17回かわごえ環境フォーラム」において、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」ワークショップを開催しました。ワークショップを企画しながらおこなわれてきた「宝」はみなさまの知恵と経験から生まれました。今回のワークショップではさらに「宝」を掘り出し、それらをもとに活動やアイデア、周辺の「宝」との関係を見ながらストーリーを作り上げたいと思います。
主催：かわごえ環境ネット 後援：川越市
協賛：ハイオクニ株式会社 武州カス株式会社 株式会社環境総合研究所
朝陽興産株式会社 朝陽興産工業株式会社
お問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局 (川越市環境政策推進課環境推進担当)
TEL:099-224-5865 Fax:099-225-5900 E-mail:kankyo@city.kawago-saitama.jp
かわごえ環境フォーラムホームページ <https://forum.kawagoekankyo.net>

2月29日(土) ウェスタ川越。環境活動報告会、講演会、ワークショップ (詳細 13-14 面)

目次

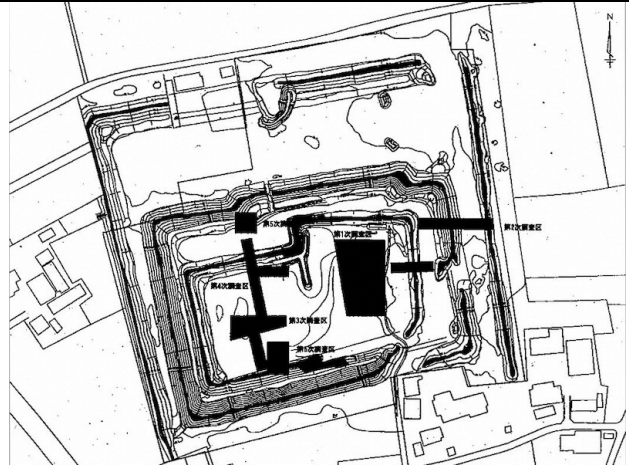
コラム	川越の自然をたずねて (81) 大堀山館跡を巡る.....	2-3
	社会環境部会から提言 (14) かわごえ環境ネット パンフレット改訂版によせて..	3-5
	川越の「宝」をたずねて (7) 松本醤油商店の蔵.....	5
報告	かわごえ環境ネットの活動「歳末まち美化活動」.....	6
	会員・地域・流域の活動 (4 題)	7-11
	理事会・専門委員会 (3 題)	11-12
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事 (3 題)	13-15
	会員・関係団体の主催・関連行事 (7 題)	15-18
	広報委員会からのおしらせ (9 題)	18-19
	イベントカレンダー (1月1日~2月29日)	20



【コラム】川越の自然をたずねて (81) 大堀山館跡を巡る



大堀山館跡の位置



大堀山館跡発掘調査区 位置図 (黒い部分)
(出典 川越市教育委員会：大堀山館跡発掘報告資料)



藤田氏の説明を聞く



土塁の跡 くぼんでいる



うっそうとした内部

「大堀山館跡」(川越市下広谷 332-1 他)は川越市の北西部、坂戸市との市境に位置しますが、ご存知の方は少ないのではないのでしょうか。中世の城館跡で県指定史跡になっています。館の東には鎌倉街道の上道の枝道が南北に走り、古くから交通の要衝であったようです。11月21日、かわごえ環境ネットのメンバー9名で、市の文化財保護課、藤田氏の説明を受けながら、歴史的な側面と自然要素の探索をしました。

城館の形態は、本郭を中心に三重の堀と土塁が廻っており、一辺180mの正方形に近い平面形態です。

現状は大部分が山林で、廃城後、目だった開発を受けることなく良好な保存状態が保たれているそうです。1983年の埼玉県教育委員会の確認調査では15~16世紀の陶磁器や土器が出土していることから、戦国時代に築造されたものと推定されているそうです。出土品の年代が川越館跡のものと類似があるということです。

藤田氏の案内で土塁や堀に相当するところを見ると、地面が1m以上くぼんでいます。実際はもっと深く4mぐらいで、かなり埋まって

しまったとのこと。市では第1次から第5次までの発掘調査をしていて、郭は二、三とあり、一段と高くなっていてこの周りから井戸の遺構も確認されたそうです。

さて、500年を経て現在にタイムスリップしてこの場に立つと、ただのうっそうとした秘境じみた景観でしかありません。まさに「夏草や兵どもが夢のあと」です。その“夏草”を我々は調査していきました。旺盛なのはシラカシ、ヒサカキ、ヤツデ、アオキ、マンリョウ、シュロ、イヌツゲ、ネズミモチなどの常緑照葉樹で、このままですとこれらが優占種になるでしょう。その間にウワミズザクラ、イヌザクラ、ヤマザクラ、ケヤキ、アオハダ、ヤマハンノキ、ミズキ、ムクノキなどの夏緑広葉樹、低木ではヤマツツジ、ムラサキシキブ、イボタノキなど、林床にはヤブラン、ヤブコウジ、シュンラン、サイハイランも数株みられました。年月を経て様々な種が運ばれてきて、藪こきをするようなジャングル状態になったのでしょうか。懸念されることはモウソウチクがかなりの勢いで拡散していることです。

ここ下広谷周辺には6か所の城跡があるようになっていそうです。中世の頃武士が闊歩した地に思いを馳せた一日でした。(賀登環)

【コラム】社会環境部会から提言(14) かわごえ環境ネット パンフレット改訂版によせて ～やさしさとしなやかさから生まれるパートナーシップ

かわごえ環境ネット

市民・事業者・民間団体・行政の協働で川越市の望ましい環境像の実現をめざす

かわごえ環境ネットでは、自然や生きものを守りたい、川や水辺をきれいにしたい、まちをきれいにしたい、まちを緑でいっぱいになりたい、環境にやさしい生活がしたい、こんなことを考えている人たちが活動しています。

かわごえ環境ネットでは約190の団体・個人(2019年現在)が参加し、かわごえの環境の環(わ)を「太く」「大きく」「さらにつなげる」活動を行っています。

2019.12.03

1. 「表紙」

かわごえ環境ネットの活動

かわごえ環境ネットでは、4つの専門委員会(部会)が活動しています。ぜひ自分の興味ある委員会にご参加ください。また、新たな取り組みを企画し、積極的に活動を行ってください。

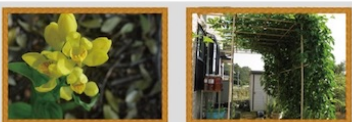
社会環境部会



3つの活動テーマ

循環型社会の形成、持続可能な社会の構築、地球温暖化対策の推進

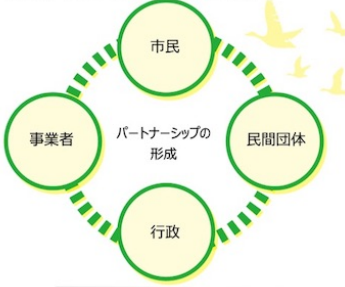
日常生活から地球規模までを視野に、循環型社会形成等の視点で再生可能エネルギーの利用促進、ごみの排出抑制など、できるところから実践しています。



4. 「かわごえ環境ネットの活動」社会環境部会

かわごえ環境ネットの役割

かわごえ環境ネットは、「川越市環境基本計画」に基づき、2000年8月に設立されました。



各主体が協働するプロジェクトを企画、実施します。

環境に関する情報を発信していきます。

環境保全活動に取り組む人々のパートナーシップ形成を支援します。

「川越市環境行動計画」を推進する活動を実施します。

市民・事業者・民間団体・行政がパートナーシップを形成し、協働して望ましい環境像を実現していきます。

かわごえの環境について知り、学び、環境保全のために私たちがしなければならないこと、できることをともに考え、行動しませんか？

2. 「かわごえ環境ネットの役割」

広報委員会

広報紙として毎月、「月刊かわごえ環境ネット」を発行して情報の蓄積と発信をしています。また、ホームページの運営とSNSを活用した情報発信を行っています。

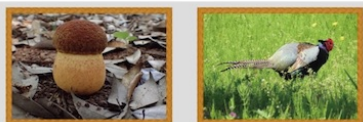
自然環境部会



3つの活動テーマ

環境学習の推進、生物多様性の保全、自然環境の保全と再生

生きものとの共生、生きものにぎわいのある川越をめざして、川越に残る良好な自然環境の記録・保全・再生に取り組んでいます。



5. 「広報委員会」「自然環境部会」

会員募集中

会員になると

- かわごえ環境ネットが主催する自然観察会、研修会、施設見学会など興味のある活動に参加できます。
- 広報紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お届けします。
- 単独の団体ではできない幅広い活動ができます。
- 市民や事業者、民間団体、行政とのコミュニケーションが図れます。

年会費

個人	1口	1,000円
民間団体、事業者	2口	2,000円

会員資格

(次のいずれかの要件に該当すること)

- 市内に在住または在勤の方
- 市内で環境に関する活動をしている、またはこれから活動しようとしている構成員が5人以上の民間団体
- 市内に所在する事業所および事業所を構成する団体
- その他理事会で承認されたもの



かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課 環境推進担当)
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1
Tel.049-224-5866 Fax.049-225-9800
kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
https://kawagoe.kankyo.net



3. 「裏表紙」

事業運営委員会

かわごえ環境ネットの運営に関する中長期ビジョンを検討、策定しています。中期的には「川越市環境行動計画」の目標年度2025年に向けて、さらに国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の2030年という長期目標も考慮しながら事業を進めています。

主なイベント



かわごえ環境フォーラム

クリーン活動



川の一斉水質調査への参加

エコプロダクツ川越への出席



環境講演会

視察研修会



6. 「事業運営委員会」「主なイベント」

2019年12月かわごえ環境ネットのパンフレットの改訂版ができました。このたび、理事や広報委員会の方々の多大な協力を得ながら、かわごえ環境ネットのこれまでの活動写真をふんだんに使い、少しでも多くの方に私たちの活動の様子が伝わればという思いで改訂作業をさせていただきました。パンフレットの内容を構成していくため、これまでの活動報告を読み返してみますと、改めて、本当にたくさんの川越の市民が自然に思いを寄せ、現場におもむき、各々ができることを実践してきたことに敬意の念を抱きます。

私は、かわごえ環境ネットの活動に携わり始めて日が浅いのですが、この団体で活動している方々について最近気が付いたことがあります。それは、やさしさとしなやかさを体現している人たちであるということです。

野鳥や昆虫、植物など人間よりも小さな生きものたちの居場所を守り、そしてささやかな季節の変化を身近に感じていることで、やさしさが醸し出されているのではと思います。一方、自然は時折私たちにとって脅威となります。先の台風では川越も一部被害を受けました。自然は人間の力では到底及ばない猛威を振ります。こういった大きな自然の流れにどのように順応していけばよいか、そして水や電気などエネルギーの循環に関わっていることで、変化に応じていくというしなやかさが生まれているのではと思います。

かわごえ環境ネットの目標は、「市民・事業者・民間団体・行政の協働で川越市の望ましい環境像の実現をめざす」です。私は、望ましい環境像という言葉がとてもよい言葉選びに感じます。めざすべきものが確固たる何かではなく、ひとりひとりが望ましいものは何かに思いを巡らす、想像の余白があるからです。国連が定めた2030年の持続可能な開発目標（SDGs）の17番目のゴールは「パートナーシップで目標を達成しよう」とあります。やさしさとしなやかさから生まれるパートナーシップがこれからどういった

未来を描いていけるのか、想像するだけでよい初夢がみられる気がします。（増田知久）

【パンフレット改訂版の写真等の説明】

1. 「表紙」

- 上段：「エコプロダクツ川越 2016」会場での、ペットボトルでのロケット発射実験
- 中段左：南小畔川での小学生の水遊び体験
- 中段右：川越まつり会場クリーン活動
- 下段：御伊勢塚公園内の池を見学

2. 「かわごえ環境ネットの役割」

市民、事業者、民間団体、行政の4者がパートナーシップを形成し、川越の望ましい環境像を実現していくためのつながりをダイアグラムで表現

3. 「裏表紙」

- 上段：かわごえ環境ネットののぼりを立てて、（仮称）川越市森林公園計画地での調査と保全活動を終えて。

- 下段：毎年恒例の「歳末まち美化活動」で、赤い啓発ゼッケンをつけて出発前に勢ぞろい！

4. 「かわごえ環境ネットの活動」「社会環境部会」

- 上段左：川越西部地域の水と緑の視察でのワークショップ

- 上段右：「エコプロダクツ川越 2019」における森で採れた材料を使った工作

- 中段左：パッションフルーツ栽培の講習会

- 中段右：歳末まち美化活動、一番街の休憩所そばで

- 下段左：キンランの花

- 下段右：見事なパッションフルーツの日陰棚

5. 「広報委員会」「自然環境部会」

- 上段左：（仮称）川越市森林公園計画地での「きのこのこ」の解説

- 上段右：今成小学校児童らの「田んぼ体験」

- 中段左：（仮称）川越市森林公園計画地での小学生の自然学習

- 中段右：安比奈親水公園緑地で「チョウの調査」

- 下段左：きのこの「ヤマドリタケモドキ」

- 下段右：田んぼにやってきた「キジ」

6. 「事業運営委員会」 「主なイベント」

- 上段左：かわごえ環境フォーラムのワークショップ
- 上段右：毎年7月に行う「夏の郊外クリーン活動」
- 中段左：毎年6月第1日曜日の「川の一斉水質調査」。市内の30数か所で採水。北公民館にて試薬で水質調査。
- 中段右：エコプロダクツ川越で、子供らの関心を集めるペットボトルロケット作り

- 下段右：地球温暖化や海洋汚染、ごみ問題などの講演会
- 下段右：いすみ市の自然との共生の姿を視察研修
- 最下段左：川越のシンボル「時の鐘」
- 最下段右：(仮称)川越市森林公園計画地の「ムラサキシキブ」



「かわごえ環境ネット」新パンフレット ダウンロード

【コラム】川越の「宝」をたずねて (7) 松本醤油商店の蔵



松本醤油商店 店蔵



松本醤油商店



醤油蔵 (醤油の仕込蔵)

コラム「川越の「宝」を訪ねて」は、かわごえカフェ 2019 のテーマ、「川越 (と周辺地域) の宝を掘りおこそう」で参加者の皆さんと作成した「川越のお宝マップ」の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は、「松本醤油商店の蔵」

川越の中心街には老舗店が多くありますが、その中でも特に歴史が古いのが、松本醤油商店です。明和3年(1764年)に創業、店蔵が建造され、天保元年(1830年)には、醤油蔵(醤油の仕込蔵)が新たに建造されました。明治26年(1893年)の川越大火の際、店蔵、醤油蔵ともに大火を逃れ、今でも当時の蔵の中で、昔なが

らの手作り製法による醤油が作られています。この江戸時代に建造された醤油蔵は、川越市の都市景観重要建築物(「松本家天保蔵」の名称で登録)にも指定されていて、店蔵は川越市の有形文化財に指定されており、両蔵とも川越の宝ですね。

醤油蔵は見学(無料)することもできます。希望者は、松本醤油商店のホームページをご覧ください。(飯島希)



松本醤油商店 (<https://www.hatsukari.co.jp>)



松本醤油商店周辺の川越の「宝」マップ(国土地理院の電子地形図(タイル)に地点を追記して掲載)

【報告】かわごえ環境ネットの活動

歳末まち美化活動（12月22日）



本川越駅での参加者集合写真



小瀬理事長の挨拶



中央通りでゴミ拾い



川越市立高校の成果



親子で参加



中央公民館で分別作業



蓮馨寺で太麺焼きそばを

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、17回目の今年は12月22日（日）に実施しました。天気は曇りで風なし。

9時30分に本川越駅前交番前に集合、参加者は54人（去年は51人）、かわごえ環境ネット会員や市民、武州ガスの社長と社員ご家族14人、市立川越高校生徒と先生13人、佐藤奈穂里税理士事務所11名。3日前の天気予報が雨のため、飛び入り参加の方が例年に比べ減少しました。

小瀬理事長の挨拶、集合写真の撮影、クリーン活動段取り名人の渡辺利衛さんが収集の仕方とコースの説明行い、参加者は北コース班と南コースに分かれクリーン活動を開始。

参加者は、まち美化活動のゼッケンを着け、空きかん・紙くず・たばこなどを拾いながら、師走

の市内中心部を回り、北コースは中央公民館でゴミの分別作業、その後蓮馨寺に移動し、中庭で熱いお茶と有志カンパで調達した川越名物の太麺焼きそばを食べ、歓談して解散しました。

南コースは川越市立川越高校生徒と先生が参加、かわごえ環境ネット会員と一緒に、本川越駅前からバス通りやクレアモールなどのコースに分かれてゴミ拾いをしました。ウエスタ川越でゴミの分別作業を行い、カフェ&ベーカリー「どんなときも」で焼きたてのパンを食べて解散しました。

ゴミ拾いは、まち美化の効果とともに、屈伸や歩行を行うことにより、エクササイズ（exercise：英語で運動の意）の効果もあります。来年も振るって多くの方々のご参加を!!（菊地三生）

【報告】 会員・地域・流域の活動

【後援】 第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉 (12月14日)



かわごえ環境ネットが協力した受付



竹村牧男東洋大学長の講演



島村仙さんの SDGs スピーチ



こもれびの森フィールドツアー



パネル展示



①「若者と市民の環境会議」分科会



②「あなたの暮らしで未来を変えよう」分科会



③「森・田んぼ・川の生きもの保全」分科会



④「私ごとから考えるごみ問題」分科会



⑤「SDGs を知ろう！入門編」分科会



⑥「環境経営の今・これから」分科会



全体会

第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉実行委員会、東洋大学、埼玉県地球温暖化推進センター、パルククラブ 21 埼玉の共催による「第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉」が、12月14日(土) 10:00-16:30 に東洋大学川越キャンパスで開催されました。

この行事は、過去には「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」という名称で開催されたイベントを継

承して、持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組として開催されたものです。

川越では、「環境まちづくりフォーラム・埼玉」の時代に2003年度の第3回、2009年度の第9回に開催されており、今回、10年ぶりの開催となりました。

参加者は、午前、午後合わせて延べ484名となりました。その他、終了後の交流会にも50名ほどの参加者がありました。多くの方にご参加

いただき、まことにありがとうございました。

10:00-11:55 基調講演・SDGs スピーチ等

7号館 721 教室で午前の部を開催しました。

主催者等のあいさつの後に、竹村牧男東洋大学長による「仏教から見た環境問題」の基調講演が行われました。仏教の環境観は、身体と環境をセットとして捉える「唯識」(ゆいしき)であり、相互は平等・無差別であり、関係しあい、支え合っている。関係性は空間的のみならず、時間的にも成立しており、共感・共苦に基づく「世代間倫理」が成立するのではないかと環境問題の本質を説きました。

続いて、2019年度少年少女国連大使によるSDGs スピーチでは、中学3年生の島村仙さんが、海外の研修で学んだことを中心に10分間で語りました。日ごろの生活に「小さな罪悪感」を持つ必要があると、おそらく参加者の中で最も若い島村さんが強く訴えました。

その他、埼玉県が推進する「エコライフ DA Y」感謝状贈呈、これまでのフォーラムの振り返りの講演がありました。

なお、午前の参加者は239名でした。

12:30-13:00 こもれびの森フィールドツアー

昼休みの30分間を使って、私(小瀬)が、川越キャンパス「こもれびの森フィールドツアー」を行い、川越キャンパスを東洋大学が地元地権者から買い取ってから60年間の経緯、自然再生エリアの5年間の経緯、こもれびの森・里山支援隊の5年間にわたる活動による森の植生の変化などを語りながら、約30名の参加者を引率しました。この日は天気がよく、短い時間でしたが散策にちょうどよい陽気でした。

また、昼休みを中心にパネル展示が、分科会会場の2号館1階廊下でありました。かわごえ環境ネットでも新たなパンフレットをポスター印刷して展示しました。

13:10-15:50 分科会

6つのテーマで分科会が2号館1・2階の各教室で行われました。私(小瀬)は、各分科会を巡回しながら情報を収集し、分科会後の全体会

の取りまとめにつなげました。ここでは、断片的ながら聴講した内容と司会者からの情報、配布資料等から分科会の概要を記します。

①「若者と市民の環境会議」SDGs から素晴らしい未来を語ろう!

「埼玉県における地球温暖化対策の取組」(埼玉県温暖化対策課 森田貴裕氏)のほかに、環境啓発の取組として新座市の八石小学校(浜田祐加校長)と川越で行われた「アースデイ川越 in 昭和の街」の取組(岩澤勝己実行委員長)、持続可能な社会形成に関する教育(自由学園高野慎太郎教諭)の講演の後、パネルディスカッションが行われました。SDGs への関心を高める実践的な取組に関心が高まりました。

会場は2205教室、参加者は22名でした。

②「あなたの暮らしで未来を変えよう」家庭の省エネから温暖化を考える

一般社団法人 Forward to 1985 energy life の野池政宏代表理事が、住まいや暮らしの地域アドバイザー拠点を増やすことの重要性を説きました。また、ワークショップで参加者が家庭の省エネ診断のアドバイザーとなり、省エネの広め方について意見交換や交流を行いました。

会場は2102教室、参加者は36名でした。

③「森・田んぼ・川の生きもの保全」人と自然の共生を学んで、生物多様性を目指そう

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブの藤岡重歳理事による「生きものに優しい田んぼから繋がる人と地域の輪」、かわごえ環境ネットの賀登自然環境部会代表による「川越の生物多様性保全」、NPO 法人荒川流域ネットワークの川島秀男氏による「荒川流域の生きもの調査」について講演があり、その後、パネルディスカッションが行われました。

コーディネーターの感想としては、無農薬・無化学肥料の難しさ、キタミソウに関する苦労話が印象に残ったということでした。

会場は2105教室、参加者は39名でした。

④「私ごとから考えるごみ問題」私たちが今やるべきことを考えよう

コープデリ生活協同組合連合会の宮川和之氏による「未来へつなぐ もったいない」、NPO 法人狭山環境市民ネットワークの土淵昭理事による「ごみの資源化を進めよう 主として狭山市の事例」の2件の講演があり、講演後に会場と意見交換が行われました。

コーディネーターの感想としては、食品ロス削減の取組や狭山市のごみ減量の取組について関心が高かったということでした。

会場は2104教室で、参加者は37名でした。

⑤「SDGsを知ろう！入門編」自分たちで関れる取組を考えてみよう

芝浦工業大学の袖野玲子教授による「SDGsのやさしい解説」の後、東洋大学、芝浦工業大学、城西大学、獨協大学、日本工業大学の学生による取組、電源開発株式会社の藤木勇光氏、有限会社リボーンの壹岐健一郎代表取締役の取組の発表があり、分科会参加者に配布された「SDGs シール」を使って「私のSDGs」見本市というテーマで、参加者を含めたSDGsに対する取組を目標ごとに黒板に貼り付けて、会場全員で話し合いました。

会場は2101教室、参加者は、分科会の中では最も多い62名でした。

⑥「環境経営の今・これから」環境経営の深化、SDGs経営の拡大に向けて

事務局から「SDGsの基礎知識とSDGs経営について」講演があった後に、事例報告として、

パイオニア株式会社（カーエレクトロニクス事業等）の辰野聡彦氏から「パイオニアの活動 ご紹介」、株式会社長谷川製作所（照明器具等の開発・製造・販売）の長谷川正代表取締役による「当社のSDGs経営」、株式会社タカヤマ（産業廃棄物等処理業）の後藤究氏による「SDGsへの取組」、秩父森づくりの会（林地残材回収、有志による森林資源有効活用事業）の平田俊一氏から『「無駄」を富に変える 森林浴ヒュームづくりでサーキュラーエコノミービジネスの実践』について4件の講演がありました。その後、パネル・フロアディスカッションが行われました。

コーディネーターからは、中小企業がどうやって取り組むかが課題で、手間がかかるけれど、企業価値、人材育成のために必要なことであるというコメントがありました。

会場は2103教室、参加者は49名でした。

16:10-16:30 全体会

20分という限られた中で、私（小瀬）が司会者として各分科会のまとめを伺った後に今回のフォーラムの総括を行いました。結論として私が提示したキーワードは次のとおりです。

- ・つながり（意識化、他・多世代）
- ・とりくみ（自分ごと、常識を疑う、アイデア）
- ・おもいやり（世代間、いきものも）

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、個人も組織も、日常から世代を超えた関わりを意識することが重要だと感じたSDGsエコフォーラムでした。（小瀬博之）

神社と稲作文化

2017年より、志木の敷島神社での茅の輪には、かわごえ里山イニシアチブのマコモの葉を使っただいております。また、この年末には、川越八幡宮でマコモ葉のお正月かざり作りをしました。

マコモは古来より神事に使われており、ここ最近神社とのご縁が繋がってきており、たい

NPO法人かわごえ里山イニシアチブ

へんうれしく思っています。

何人かのかわごえ里山イニシアチブのメンバーで11月19日の「川越みがき・みのりの会」に参加し、氷川神社の山田禎久宮司のお話を聴きに行く機会を頂戴しました。

祭りはイベントではなく「祈り」であり、そしてその祈りは個人のものではなく、地域や自

分も含めたみんなが幸せであるように・・・と願う公共の祈りだそうです。「新しい」は、昔は「あらたしい」と読まれ、「改まる＝同じことを再現する」という意味だそうです。祭りや節目の季節行事を通して先祖から次世代へ繰り返し引き続く文化や技法が、本当の意味での永遠につながったのではないかと、というお話しでした。

あえて自然に還ってゆく素材の日本家屋は、建て直しを要することで、先人から次世代への技術や知恵を引き継ぎますが、そのようにすることで、常にそこに生きた形で存在しているという意義があるのかもしれない。

ちなみに天皇の即位の際に使われる麻の衣は「あらたえ」と呼ばれ、言葉の意味を知ると感慨深いものがありました。

お話し後は、川越の街をこよなく愛する地元でご活躍の方々と宮司さんを囲んで懇親会。結婚式場としても人気の氷川会館でのビュッフェはすてきでおいしかったです。神社は田んぼ同様、地域の方たちのつながりも深めてくれる場所なのだとも再認識しました。今年はさらに川越でご活躍の方々と協力して稲作文化と地域を盛り上げて行く年になりそうな予感です。

(柏井喜代恵)



御幣を持つ氷川神社の山田禎久宮司



敷島神社の茅の輪



茅の輪くぐりの様子

ヒラタケが発生した12月のこもれびの森

小瀬研究室(こもれびの森・里山支援隊)



参加者の集合写真



春先に菌打ちしたヒラタケが発生



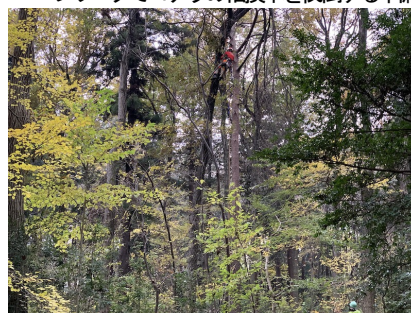
ロープワークでコナラの枯損木を伐倒する準備



直径が70cm近くあった樹齢50年以上のコナラの枯損木



伐採枝や落枝をウッドチップパーにかけ、チップを路面に敷設



木に登って台風で折れた枝を落とす作業

東洋大学川越キャンパス内の広大な森林「こもれびの森」を多様な生物が生きる里山の森にする「東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊」では、毎月1回程度活動日を設け

て、生育阻害木や枯損木の伐倒、下刈りなどの里山林保全活動を行っています。

12月7日(土) 8:30から16:00に行われた里山林保全活動は、雨の予報もありましたが、曇

り空の中で 14 名の参加で行われました。初参加が 3 名、うち 1 名はこもれび祭の来場者、2 名は川越キャンパスと白山キャンパスの学生でした。インターネットに限らず広く情報を伝えることが、興味を持つ人とつながるためには重要と考えました。

今春菌打ちしたヒラタケが早くも発生しまし

た。活動は枯損木の伐倒組とウッドチップパーによる伐採枝の粉碎組に分かれて、野球部の練習場周辺の整備を行いました。

2019 年の活動は今回で終わり。2020 年も活動を継続します。興味を持った方はぜひご参加ください。

(小瀬博之)

オアシス横の新河岸川がきれいに！河道の整備工事で。



葦がいっぱい生えてごみも絡まる

一級河川新河岸川は、上野田町から市中心部の台地をぐるりと回り、田谷堰から南へと不老川への合流点へと流れます。春の桜まつりでにぎわう氷川神社裏から城下橋までは、遊歩道もあって親しまれる川の風情を残しています。しかし、初雁球場裏からは一転して川の中は水草だらけでごみが絡まり、杉下橋から琵琶橋まで



工事開始の立て看板



河道をいっばいに整備

は新河岸川の中で一番汚い所でした。川の管理者の川越県土整備事務所によって、11月から河道整備工事が始まり、写真のように葦や水草をきれいに整備しました。さらなる景観と環境整備は、今のところはっきりしていません。

(武田侃蔵)

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

12月18日(水)9:00-10:00に第9回事業運営委員会を、10:00-12:05に第9回理事会を福田ビル3階会議室において開催しました。一括して主要な議事内容を報告します。

(1) 第18回かわごえ環境フォーラム(2/29)

かわごえ環境フォーラムのちらし案を確認し、内容を本紙に掲載するとともに、ちらしを会員送付資料に同封することにしました。活動報告集へのレポート投稿が10件、活動報告会での発表に8件の申し込みがあることを確認しました。事前準備と当日のタイムスケジュール・キャストイングを検討しました。マップづくりワークショップ「川越(と周辺地域)の宝を掘り

おこそう2」における地図の掲示方法を検討しました。

(2) 設立20周年記念事業

12月16日(月)に第6回出版専門委員会が開催され、冊子制作のため市内のフィールドワークを実施予定であること、直近では、1月29日(水)に川越市の地質フィールドワークを実施することが報告されました。

(3) 次年度の事業計画について

次年度の事業計画について各専門委員会・部会より作成中との回答がありました。

(4) 次年度の事業計画

川越市総合計画審議会(後期基本計画)の委

員候補者の打診があり、菊地三生理事を推薦することにしました。

(5) その他

12月14日(土)に東洋大学川越キャンパスにおいて実施された「第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉」に、会員5名が会場スタッフとして参加したことが社会環境部会より報告されまし

た。また、「森・田んぼ・川の生きもの保全」分科会で賀登自然環境部会代表が登壇して30分ほど講演しました。

個人1名が入会、1名が退会し、12月18日現在の会員数は、先月と同じ個人139、民間団体25、事業者25、行政1の合計190となりました。

(小瀬博之)

社会環境部会

12月の社会環境部会例会は、13日の金曜日に8人の参加により、福田ビル3階で行われました。

改訂が検討されていたかわごえ環境ネットのパンフレットができ上がり、まとめ役の増田さんが刷り上がったホヤホヤのものを持参、さっそく参加者で広げて感想を話しあいました。かわごえ環境ネットの活発な活動をビジュアルに紹介、市民と行政のパートナーシップの理念も謳われていて、参加者全員の共感が得られました。翌日14日に、市内の東洋大学で開かれる「第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉」でさっそく配布してかわごえ環境ネットのPRをすることに

しました。なお、かわごえ環境ネットの1月号で、写真などの説明欄を設けて、このパンフレットの有効活用を図ることにしました。

ついで理事会等の報告が代表からあり、明日になった「第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉」の支援体制を確認しました。さらに、22日の歳末まち美化活動について、参加者や運営方法について、今後とも継続してできるような体制づくりについても意見を交わしました。

課題となっているコラムについてと、来年の活動計画や体制等について若干の意見交換を行い、来月の例会でさらに深めることにして散会しました。(社会環境部会代表 武田侃蔵)

自然環境部会

12月例会は13日(金)福田ビル3階にて8名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動

11月11日(月) 18名の参加 小雨が降っていたので観察会に変更 後雨やむ リンドウまだ咲いている センブリが盛況、11月25日(月)

20名の参加 初め霧のち晴れる 野鳥の森の手入れ2回目 希少種を残す手入れ クロコノマチョウが4個体 ネイチャーゲームを試みる、12月9日(月) 9:30-12:30 22名参加 野鳥の森手入れ フユシャクがたくさん飛んでいてメスがコナラに張り付いているのを発見

②池辺公園定例活動 12月3日(火) 9名参加 ハグロソウのエリア手刈り、日照を妨げる

シラカシの除伐(2本)

③大堀山館跡フィールドワーク 11月21日(木) 8名参加 文化財保護課職員 藤田氏の案内

2. 協議事項

①かわごえ環境フォーラムへの取り組みについて原稿の確認

②かわごえ生き物調査の展開について 調査員から寄せられた2年分のデータの共有ができたので、植物、野鳥、昆虫、その他の動物で分担して整理・分析することになった(およそ5000件)

③会計担当から上半期の報告と今後の使用について

(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック】「第18回かわごえ環境フォーラム」(2月29日ウエスタ川越で開催)

12月27日現在の情報をお知らせします。最新情報は随時更新します、かわごえ環境フォーラムホームページをご覧ください。



かわごえ環境フォーラム (<https://forum.kawagoekankyo.net>)

日時：2月29日(土) 9:30-16:30

場所：ウエスタ川越 市民活動・生涯学習施設 会議室1・2(2階)(川越市新宿町1-17-17、川越駅西口から徒歩5分)

入場無料

プログラム

①みんなの環境活動報告会(9:30-12:00)

「かわごえ環境活動報告集」に投稿された環境活動報告の中から、10件程度の活動を報告いただきます。入退場自由です。

②講演会(13:00-14:25)

「動きながら考え、考えながら調整する～ぼくらのエリアリノベーション～」

講師：荒木牧人氏(株式会社80%代表取締役 / maao代表 / 三輪駄菓子屋すいすい オジサン)



荒木牧人さん

すずのや

プロフィール：1974年埼玉県上福岡(現：ふじみ野)市生まれ。建設会社、設計事務所勤務を経て、2013年荒木牧人建築設計事務所(現：maao)を設立。同時期に住んでいる地域の自治会長になり、そこでの経験を活かし「空き家問題を解決せよ！」というテーマにひかれ、第3回リノベーションアイデアコンペに応募し優秀作品賞を受賞。その後、リノベーションスクール・プロフェッショナルコース(現：プロフェッショナル・リノベーションスクール)で半年間の体系的学びを終え、地元で実践開始。2016年11月に行われた川越市主催「第1回まちづくりキャンプ」に参加後、異業種仲間3名と株式会社80%を設立。川越市連雀町にある木造2階建の空き長屋に、2017年6月に第1号案件「すずのや」「gin coffee 大工町店」、2018年2月

に第2号案件「coworking & shareoffice ダイクマチ」をDIY中心に施工。自らの設計事務所も第2号案件に移設。地域軸での新しい動きを作る。2019年2月、中心市街地活性化協議会と「第1回川越空き店舗ツアー」を共同開催。参加者から新たな実践者が誕生するきっかけを作るなど、地道に川越市街地と郊外、近隣市で様々なエリア・リノベーションを展開中。2019年12月には直営第3号案件「coworking & shareoffice ロッケンマチ」が完成。また、自身の住んでいる郊外エリア(南古谷)では週1回、牛子小学校区内を三輪自転車で販売する「駄菓子屋すいすい」のオジサンとしても活動中。

③マップづくりワークショップ(14:40-16:30)

2019年3月に開催された「第17回かわごえ環境フォーラム」において、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」ワークショップを開催しました。テーブルを囲みながら参加者同士で川越の「宝」だと思ふスポットを掘りおこすことができました(14ページ地図参照)。

今回のワークショップではさらに「宝」を抽出しつつ、それらをどうやって活用できるか、周辺の「宝」との関係を見ながらストーリーを作り上げたいと思います。



前回のワークショップの様子

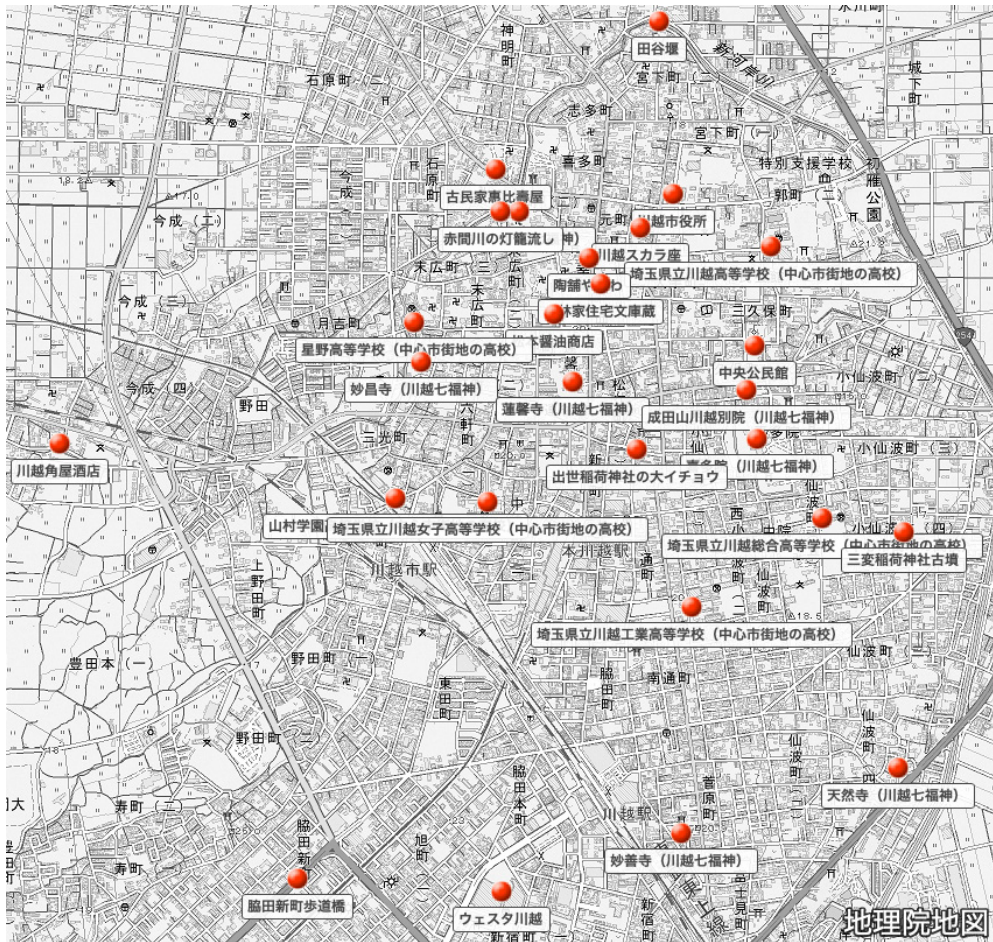
主催：かわごえ環境ネット、後援：川越市
協賛：パイオニア株式会社、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、初雁興業株式会社、初野建材工業株式会社

参加申し込み・問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当)

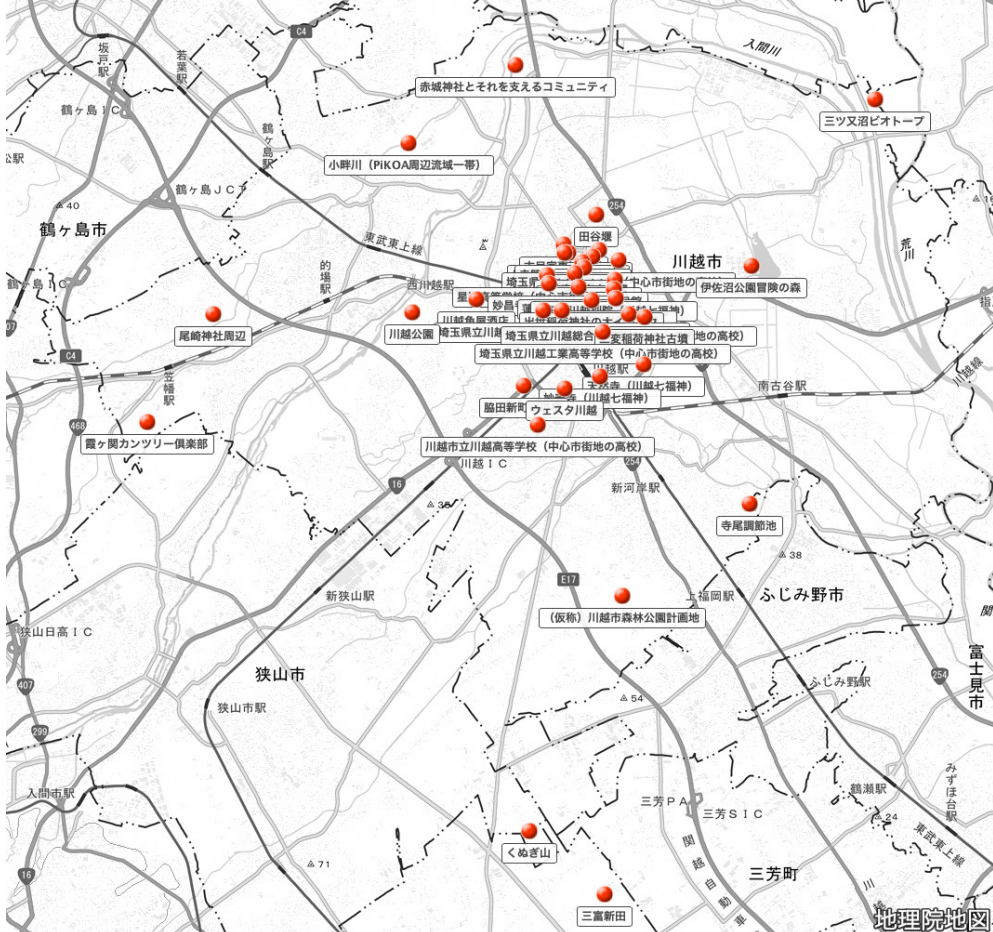
Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800

E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

<https://forum.kawagoekankyo.net>



「川越イテオシの宝」中心市街地マップ 国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載



「川越イテオシの宝」全域マップ 国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載

自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・
保全活動(毎月第2・第4月曜日)

日時:1月13・27日、2月10・24日(月)9:30-12:30

集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動(毎月第1火曜日)

日時:1月7日、2月4日(火)9:00-12:00

場所:池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★川越の地質フィールドワーク

日時:1月29日(水)9:00-12:00

集合:9:00川越駅西口

講師:久津間文隆氏

行程:熊野神社→不老川合流点→仙波河岸史跡公園→龍池弁財天→喜多院

武蔵野台地の崖線にあたる場所や不老川合流点など、見どころ満載です。全行程徒歩で回りますので歩きやすいスタイルで参加ください。資料の準備がありますので申し込みをお願いします。参加費無料

問い合わせ・申し込み:賀登(Tel.049-234-9366)

会合

◆広報委員会(2020年1月度)

日時:1月8日(水)9:00-10:00

場所:川越市役所本庁舎5階フリースペース

*次回は2月5日(水)9:00-10:00同所

●社会環境部会(2020年1月度)

日時:1月10日(金)13:00-15:00

場所:福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

*次回は2月14日(金)13:00-15:00同所

*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会(2020年1月度)

日時:1月10日(金)15:00-17:00

場所:福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

*次回は2月14日(金)15:00-17:00同所

*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会(2019年度第10回)

日時:1月15日(水)9:00-10:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は2月19日(水)9:00-10:00同所

◆理事会(2019年度第10回)

日時:1月15日(水)10:00-12:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は2月19日(水)10:00-12:00同所

●新年会

日時:1月15日(水)12:30-14:00ごろ

場所:中正屋(川越市石原町1-2-1)

会費:3,000円(税込)

*参加希望者は、予約の都合上、1月7日(火)まで本会事務局にご連絡ください。

◆設立20周年記念事業実行委員会出版専門委員会(第7回)

日時:1月22日(水)13:00-15:00

場所:栗原造園(川越市南大塚4-5-3)

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ:谷津弘子(Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会(考える会/公園共催)

日時:1月19日(日)9:50-15:00ごろ

集合:武蔵丘陵森林公園南口入口前(比企郡滑川町山田1920)

参加費:200円(入園料、駐車場代別)

持ち物:昼食持参(レストランもあります)、雨天決行(雨具持参)

内容:安西英明さん(日本野鳥の会・主席研究

員)の解説を聞きながら、園内に広がる雑木林で野鳥(カモ類やルリビタキなど)や冬越しの昆虫などを観察します。

参加費:無料(入園料別途)

持ち物:お弁当持参(レストランもあります)、雨天決行(雨具持参)、観察用具(ルーペなど)



NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
http://blog.canpan.info/forest-musashi

福原ファームクラブ

問い合わせ:横山三枝子(Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

日時:①1月11日(土)9:30-12:30 ごろ

②2月8日(土)9:30-12:30 ごろ

場所:明見院(今福677)近く

内容:農作業(B級品のお土産付き)

会費:クラブ員1家族1,000円(年間)

2019・2020年度予定表

月	日	活動内容予定
1	11	雑木林の手入れ
2	8	雑木林の手入れ 焼き芋等
3	14	雑木林の手入れ、あそぼうパン
4	11	畑の片付け

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ:増田純一(E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域コミュニティ作りを行っています。入会は随時受け付けております。(hatsukarinosato@googlegroups.com)

◎マコモ枯葉集め&マコモ葉で焼き芋会

マコモ田でマコモ枯葉集めの農作業のあと、どんど焼きをして焼き芋会を行います。

日時:1月11日(土)10:00-13:00

場所:川越市福田マコモ田(川越市福田310地先)

(アクセス <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/access>)

参加費:会員500円(中学生以上)、非会員800円(中学生以上)、300円(小学生以上)、幼稚園以下無料

申込:hatsukarinosato@googlegroups.com に①参加者全員のお名前、②大人、小、中、高、幼児を明記して1月9日(木)までに申し込み

雨天中止:当日の8:00までにメール、Facebookページで連絡します。風が強い場合は、中止か内容が変更になります。

◎田んぼ懇談会

当会の活動に興味のある方、無農薬田んぼでお米づくりやマコモづくりに興味のある方はどなたでも参加できます。申し込みは不要です。

日時:1月25日(土)16:00-18:00

場所:南公民館(ウエスタ川越内、川越市新宿町1-17-17)

◎田んぼIoTセミナー

改良版の田んぼIoTシステムや里山のロボット2について、開発者がそのキーとなるIoT技術を語ります。

日時:2月16日(日)13:00-17:00

場所:川越駅東口多目的ホール(クラッセ川越6階、川越市菅原町23-10)

参加費:1000円(会場費等として)を予定



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

◎里山林保全活動（初回参加可）

日時：①1月11日（土）・②2月2日（日）8:30

集合-16:00 作業終了

対象：本学専任教職員・学生、市民等（高校生以上）

場所：東洋大学川越キャンパス4号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」（川越市鯨井2100）

作業内容：枯損木の伐倒、下刈り、つる切り、伐採枝のチップ化、希少植物の保護、ごみ拾いなど

定員：15名

費用：無料

持ち物：森林内の作業に適した身支度（詳しくはWebで）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、参加を希望する行事

名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をおしらせください。

* Web サイト（組織概要・開催案内・開催報告）

<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

* Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

* Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

2019 年度予定表

月	日	活動内容予定
1	11	8:30-16:00, 里山林保全活動
2	2	8:30-16:00, 里山林保全活動
3	7	8:30-16:00, 里山林保全活動

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：1月7日（火）・17日（金）、2月4日（火）・21日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：1月12日・2月9日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第4土曜日

日時：1月25日・2月22日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へ。

①1月26日（日）新河岸川起点から三日月橋近くまで。一部で“つなぎ”着て川中清掃。月吉陸橋下の空き地で分別して解散。

②2月23日（日）新河岸川中流、杉下橋たもと集合。河道工事後を検証しながら両岸のごみ拾い。新琵琶橋まで。オアシス横で分別回収。11時解散予定。

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン

日時：1月20日（月）13:30-15:30

会場：高階南公民館1階会議室1号（川越市藤原町23-7）

参加費：無料

持ち物：25cm 四方の布またはハンカチ、裁縫道具

まず身近なことからということでマイ箸利用をおすすめしています。森林破壊を止めるため

にもマイ箸を持参するための箸袋を作っています。

※直近2~3か月分の電気・ガス・水道の料金票がありましたら、お持ちください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①1月12日(日) 10:00-12:00

カモ達は越冬地日本でペアを組み、春、北の

国へ渡り繁殖します。雄は相手を求めるため、羽を飾り、雌の前で水を跳ね上げたり、頭をあげたり、気を引こうと種々な行動をします。寒いので、防寒着を一枚多くご用意ください。

②2月9日(日) 10:00-12:00

全面氷結した沼でカモたちはどんな生活をしているのでしょうか。葉の落ちた公園でツグミ、シメ、コゲラなど小鳥を観察します。

広報委員会からのお知らせ

◎「川の再生交流会 2020」2月1日(土)開催

毎年、2月の第1土曜日に開催されている埼玉県水環境課主催の「川の再生交流会」の2020年大会が、2月1日(土)にさいたま市民会館うらわ(JR浦和駅西口徒歩7分)で、10:00-16:00に県内の多くの関係者を集めて開催されます。

午前の全体会は、「川の国埼玉からプラスチックごみゼロへ」の世論を盛り上げる基調講演が、東京理科大学の二瓶泰雄教授による「陸域～河川～海域のマイクロプラスチックの動態」の講演、ついで独協大学の米山ゼミと草加パドラーズの活動紹介があり、各団体のポスター展示も昨年を上回ると予想されています。

午後は第1分科会が「文化(舟運)」、第2分科会が「水質改善」、第3分科会が「水辺の生物」、第4分科会が「豊かな水辺空間づくり」、第5分科会が「環境学習」、第6分科会が「川と水害」とあり、かわごえ環境ネット会員が分担で各分科会に参加して、後で集約するように会員の参加が期待されます。1月10日のかわごえ環境ネットの例会でまとめる予定です。(武田侃蔵)



埼玉県：令和元年度川の再生交流会

◎白鳥は元気かな、水害のあとは？越辺川や高麗川などの川めぐりバス計画 2月13日(木)

川越市を中心に、10市2町の環境に関心ある人らでつくられている西埼玉温暖化ネットワークの里川部会主催の「川を知ろう」の企画が2月13日(木)に開かれます。10月の台風19号で、越辺川と入間川の合流点近くでの水害は大きく報道されました。10月31日には、新河岸川広域景観づくり連絡会主催で市内の新河岸川をぐるりと回って景観改善の意見交換をし、かわごえ環境ネット会員も多数参加しました。今回は川越西部方面の川の姿、白鳥が毎年飛来する景観、高麗川の巾着田の景観、宮沢湖周辺の新しい施設とバスで回ります。バス代2500円。申し込みは西温ネット里川部会代表の武田まで(090-2521-5770)までお願いします。

(武田侃蔵)

◎講演会「鶴ヶ島から考える世界を覆うマイクロプラスチックごみ 海洋プラスチック問題とマイクロプラスチック」

日時：1月13日（月・祝）10:00-11:30

場所：鶴ヶ島市役所 504 会議室（鶴ヶ島市三ツ木 16-1）

講師：鈴木健太氏（埼玉県水環境課）

主催：市民情報連絡会、後援：鶴ヶ島市

問い合わせ先：Tel.080-5439-3073（柏木）

★かわごえ環境ネット会員募集

会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報を毎月郵送とメールでお送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。仲間も作れます。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト (<https://kawagoekankyo.net>) へ。

●かわごえ環境ネット会員限定メールサービス

かわごえ環境ネット会員限定で、本紙並びに同封資料のメールでの送付（またはリンク）サービスを実施しています。

希望の方は、かわごえ環境ネット事務局 (kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp) にメールで件名を「かわごえ環境ネット会員メールサービス希望」として、会員氏名（団体名称）と送付を希望するメールアドレス（添付ファイルの最大容量は 5MB 以上を推奨）をお知らせください。同時に会員になれる方は、入会申込を同時にお願いいたします。



メールサービス受付

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2020年2月号（No.160，2月1日発行予定）の掲載原稿は、1月15日（水）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメールリスト (koho@ml.kawagoekankyo.net) にお送りください。メールリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせくだ

さい。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出してください。

★かわごえ環境ネット Web サイト

本紙のカラーで高精細な PDF 版を閲覧できます。バックナンバーも揃えています。



<https://kawagoekankyo.net>

★かわごえ環境ネットソーシャルメディア

①Twitter

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。



<https://twitter.com/kawagoekankyo>

②Facebook ページ

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。アカウント登録を行って「いいね！」していただければ、登録されている主要なイベントが通知されたりして便利です。



<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>

○おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (1月1日~2月29日)

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			1/1 元日	1/2	1/3	1/4
1/5	1/6	1/7 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/8 ◆9:00 広報委員会	1/9	1/10 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	1/11 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊) ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎10:00 マコモ枯葉集め&マコモ葉で焼き芋会
1/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	1/13 成人の日 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 ◎10:00 マイクロプラスチックごみ講演会	1/14	1/15 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会 ●12:30 新年会 ○本紙2月号投稿期限	1/16	1/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/18
1/19 ◎9:50 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	1/20 ◎13:30 かんきょうサロン	1/21	1/22 ◆13:00 設立20周年記念出版委員会	1/23	1/24	1/25 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 田んぼ懇談会
1/26 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	1/27 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	1/28	1/29 ★9:00 川越の地質フィールドワーク	1/30	1/31	2/1 ◎10:00 川の再生交流会
2/2 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊)	2/3	2/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/5 ◆9:00 広報委員会	2/6	2/7	2/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	2/10 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	2/11 建国記念の日	2/12	2/13 ◎越辺川や高麗川などの川めぐり	2/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2/15 ○本紙3月号投稿期限
2/16 ◎13:00 田んぼIoTセミナー	2/17	2/18	2/19 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会	2/20	2/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/22 ◎13:30 まち美化啓発運動
2/23 天皇誕生日 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	2/24 振替休日 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29 ★10:00 かわごえ環境フォーラム環境活動報告会 ★13:00 同講演会 ★14:40 同ワークショップ

月刊 かわごえ環境ネット 2020年1月号 No.159

発行日 2020年1月1日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>